

# 平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	中高年を対象とするPMBOK準拠PBL型人選プロジェクトマネジメント研修の実施		
法人名	学校法人 北海道情報学園		
学校名	札幌テクノパーク専門学校		
代表者	理事長 河村 有康	担当者 連絡先	加藤 雅博 TEL:011(807)6400
<p>1. 事業の概要</p> <p>ICT関連事業者の中高年を対象としたプロジェクトマネージャーの育成を目的とした研修を行った。研修にはプロジェクトマネジメントにおける実質的な世界標準手法といわれているPMBOK(ピンボック)を基礎として、PBL(プロジェクト・ベース・ラーニング)教材を利用して、より実践的な内容とする事に努めた。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>慢性的に不足しているプロジェクトマネージャーの育成は急務とされており、継続的かつ精力的に行う事が必要とされていながらも、育成方法の難解さからシステム的に育成を行う事が困難だった。この育成方法のPMBOKを用いより実践的なPBL教材を使った研修を行う事で、受講した中高年者がプロジェクトマネージャーになることに加え、受講者が社内教育における指導者となる意識を持ったことは予想外の効果だったと言えます、研修は概ね目的を達成したことを報告致します。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>継続性のない仕事として位置付けられる「プロジェクト」と言われる仕事を円滑に進めるためには、プロジェクト進行中に起こりうる問題やリスクを予測し、時間と物資、メンタル面も含む人の管理など、多岐に渡る要素を把握し管理するプロジェクトマネージャーが必要な事は認識されているものの、その育成方法に関しての方法は一般的に知られておらず、育成のための研修もあまり開催されていない。今回の事業を行う事で、プロジェクトマネージャーの育成方法とそのツールを伝える事ができた事に加え、受講者の育成に関しての意識を高くする事ができた。受講者周辺で育成が活発化する事が予想され、それが周囲に伝播する事が予想される。</p> <p>③今後の活用</p> <p>研修実施事業のため教材や成果物が残る性質のものではないが、今回の受講者が社員や関係スタッフを育成する必要性を認識し、研修やセミナーなどに積極的に参加する様促す事が予想される。量的にも質的にも慢性的な人材不足が問題となっている高度IT人材といえるプロジェクトマネージャー育成の研修は、継続的に行う事が望ましく、徐々に受講者が増え、回を追うごとにレベルが向上して行くという知的人材創造サイクルを作り出す事が今後のテーマであり、継続開催する事で今回の実施はその始期として意味のあるものだったと認識できるはずである。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>職種や経験値の違いなどにより、受講者の知識や意識に差違が大きくあった点は否定できず、今後開催する場合においてはこれらの点に関して注意して、事前にレベル分けをする事が望ましいと考えられる。また、プロジェクトマネージャーそのものを育成するコースに関しては年齢制限をせず、若年層からの可能性を模索しても良いと思われ、加えて、中高年層を対象にこれまでのマネジメントに関する経験値を活かして次世代のプロジェクトマネージャーを育成する為のコースを設置する事も検討することを提案したい。</p>			
3. 事業の実施に関する項目			

### ①キャリアアップ講座の実施

プロジェクトマネージャーの育成というテーマは市場ニーズとして確実にあるものの、経験値の蓄積でスキルアップするという業界の認識が強いため、PMBOKという育成手法の存在そのもの自体あまり周知されていない。この手法を広く周知するというテーマは当面は継続して実施する事が望ましいと考える。

今回は中高年を対象として実施したが、応募者のほとんどが40代であった点や自らプロジェクトマネージャーになろうと検討している方が極めて少なかった点などに鑑みて、プロジェクトマネージャーを育成する人の為の研修を中高年向けに実施する方がニーズとして存在すると推察できる。また、自らプロジェクトマネージャーになろうと意欲的に検討する世代は30代である事も同時に考えられるが、現状では憶測の域を出ないので調査の実施を検討したい。

アンケート結果からも受講者の反応は概ね良好であったと見て取れるが、PMBOK基礎コースにおいては、一定レベル以上のスキルを持った受講者には若干物足りなさを感じる部分もあったように見受けられ、逆にPBL型実践コースにおいては、時間的制約などの問題もあり、スキルの取りこぼしがでてしまい、消化不良となった部分が存在する点は否めない。

将来においては、徐々にでも受講者のスキルや業種、年齢などを細分化して、より実践的な研修の実施が望ましいと考える。

### ②その他

PMBOK基礎コースのテキストは、分かりやすさを追求するためにオリジナルのものを作成した。